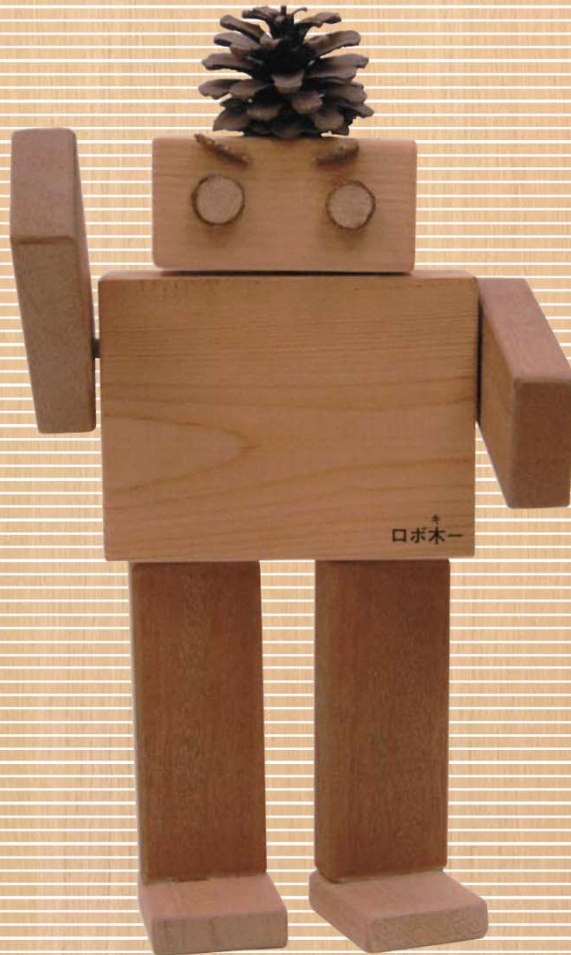




木育インストラクターテキスト

平成22年 3月



活

特定非営利活動法人

木活木(いきいき)森ネットワーク

はじめに

平成20年度、21年度林野庁の補助事業である「新たな木の文化を創造する木材利用に関する教育「木育」の実践事業」の一環として、財団法人日本木材総合情報センターと特定非営利活動法人活木活森ネットワークは、「木育インストラクター研修」を島根、埼玉、熊本、東京、岩手で開催してきました。

本テキストは、「木育インストラクター研修」に使用した講師陣の資料等を、その都度改善し、集大成したものです。内容についても、「木育」のねらいと必要性、「木育インストラクター」の役割、「木育」のカリキュラムの設定と順序、楽しく安全な「木育」活動の実施など、実践向きにわかりやすく解説しています。

これまでにはない、「木育テキスト」となっていますので、「木育」活動を体系的かつ効果的に実施しようとする指導者をはじめ、既実践している指導者の方々にも広く利用されることを期待しています。

最後になりましたが、本テキストの作成に当たりましては、島根大学教育学部山下晃功教授と埼玉大学教育学部の浅田茂裕教授に多大なご尽力をいただきましたことを、ここに記して感謝申し上げます。

平成22年3月

特定非営利活動法人 活木活(いきいき)森ネットワーク
理事長 遠藤 日雄



目次

はじめに	1 p
------	-----

Ⅰ「木育」のねらいと必要性

1. 「木育」とは何か	5 p
2. 充実した「木育」へ	6 p
ステップ1 触れる活動「触れ、感じる」	7 p
ステップ2 創る活動「創り、楽しみ、学ぶ」	8 p
ステップ3 知る活動「知り、理解し、行動する」	10 p
3. 「木育」のステップごとの活動目標	12 p

Ⅱ「木育インストラクター」の役割

1. 「木育インストラクター」とは？	13 p
■「木育のインストラクター」について	13 p
■「木育のインストラクター」になるために	13 p
2. 「木育インストラクター」に必要な力	14 p
■「木育のインストラクター」の社会的使命	14 p
3. 「木育」をプロデュースするために	16 p

Ⅲ「木育」カリキュラムの設定と順序

1. まず「5W1H」を整理する	17 p
2. ねらいと目標を設定する	18 p
3. 具体的な活動を選ぶ	19 p
4. よりよいスケジュール設定のために	20 p
5. みんなが楽しめる活動の工夫	21 p
6. 「木育」活動の質を高めるために	22 p
■「木育」の活動実施計画書の作成	24 p
■指導者の担当割当て表の例	27 p
■小学生・中学生に適した「木育」活動のねらい	28 p

Ⅳ「安全な木育活動の実施のために」

1. 安全の基本を守って楽しく	29 p
2. 安全を確保するための手だて	30 p
3. もし事故が発生してしまったら	31 p
4. 木工活動中の指導者の心得	32 p

■安全管理・チェックシートの例（１）	33p
■安全管理・チェックシートの例（２）	34p
■緊急連絡体制の例	35p
■木工用具を使用する場合の安全教育の例	36p

V 「木育推進サービスパック」について

■「木育インストラクター・テキスト」について	38p
■補助教材（支援ツール）のいろいろ	39p
（１）「木育アクティビティシート」と「木育活動事例」	
（２）「子どものための木工具の使い方」と、 「シゲノビッチ博士と学ぶ！ 木材の学習」	
（３）「木育ノート」	
（４）「木育紙芝居～げんきくんとロボッキー・シリーズ～」	
（５）体験教材	
（６）「木育」の普及PRツール	

参考資料 ◆Q&A（よくある質問）	40p
◆執筆協力者一覧、撮影協力及び写真提供	41p
◆問合せ先・相談窓口	41p



この「木育インストラクター・テキスト」は、林野庁の平成21年度補助事業として、「特定非営利活動法人 活木活木(いきいき)森ネットワーク」が作成しました。